

平成28年2月 東京地区百貨店売上高概況

平成28年3月18日

I. 概況

1. 売上高総額	1,205億円余
2. 前年同月比	2.7% (11か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭2.4%(87.1%) : 非店頭4.6%(12.9%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成28年1月対比±0店)
5. 総店舗面積	857,392㎡ (前年同月比:0.3%)
6. 総従業員数	18,670人 (前年同月比:-0.2%)
7. 3か月移動平均値	7-9月 6.1%、8-10月 6.1%、9-11月 3.9%、 10-12月 3.0%、11-1月 1.0%、12-2月 1.7%

[参考] 平成27年2月の売上高増減率は5.3%

【特徴】

- (1) 月を通して気温が高めに推移したことや営業日数増、春節を中心とした外国人観光客の増加などを背景に、入店客数が堅調に推移(+1.6%)し、売上高は11か月連続プラス。
- (2) 衣料品は、紳士服・子供服・その他衣料品が健闘したものの、婦人服の苦戦を受けて僅かに前年を下回ったことに加え、身のまわり品も11か月ぶりにマイナスとなったが、雑貨の11か月連続、食料品の6か月連続プラスが全体を下支えした。
- (3) 細分類では、化粧品が27.9%増で11か月連続前年を確保したほか、美術・宝飾・貴金属が2か月ぶりにプラスに転じた。食料品では生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品の4品目が4か月ぶりに揃って前年を上回るなど、入店客数の増を生かすことが出来た。
- (4) 個別商材では、前月に続きコートやセーターなど防寒衣料の動きは鈍かったものの、中旬の暖かさを受けて春物ブルゾン、ジャケット、ブラウス、カットソーに動きが見られた。また、バレンタイン、恵方巻きに加え、セレモニー対応のマザーニーズなど歳時記商品の好調も目を引いた。
- (5) 3月は月前半の気温が低く春物商材の動きが低調なことや、前年比較で日曜日1日減もあり、15日現在で約5%減。今後の気温上昇や、各社の販促企画による19日からの3連休及び月末週にかけての追い上げに期待がかかる。

【要因】

- (1) 営業日数増減 28.6日 (前年同月比+1.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
 - ①増加した: 7店、②変化なし: 6店、③減少した: 5店
- (3) 2月歳時記 (バレンタイン、春節、節分、マザーニーズ) の売上 (同上/有効回答数12店舗)
 - ①増加した: 6店、②変化なし: 5店、③減少した: 1店

東京地区百貨店 売上高速報 2016年02月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	120,567,786	100.0	2.7
紳士服・洋品	8,528,323	7.1	0.3
婦人服・洋品	20,450,101	17.0	-3.1
子供服・洋品	2,741,102	2.3	5.2
その他衣料品	2,324,791	1.9	0.8
衣 料 品	34,044,317	28.2	-1.4
身のまわり品	16,953,175	14.1	-0.2
化粧品	10,567,950	8.8	27.9
美術・宝飾・貴金属	7,989,076	6.6	7.7
その他雑貨	5,652,675	4.7	-4.3
雑 貨	24,209,701	20.1	12.2
家 具	2,086,046	1.7	12.9
家 電	765,077	0.6	-40.4
その他家庭用品	4,287,544	3.6	1.8
家 庭 用 品	7,138,667	5.9	-2.8
生 鮮 食 品	4,156,769	3.4	0.8
菓 子	11,035,320	9.2	6.5
惣 菜	5,944,019	4.9	3.0
その他食料品	8,731,819	7.2	2.3
食 料 品	29,867,927	24.8	3.7
食 堂 喫 茶	2,794,486	2.3	0.0
サ ー ビ ス	1,975,057	1.6	-8.4
そ の 他	3,584,456	3.0	11.3

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	1,877,831 千円	-0.9
従 業 員 数	18,670 人	-0.2
店 舗 面 積	857,392 m ²	0.3

営 業 日 数	28.6 日	前年	27.6 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が11か月連続、食料品が6か月連続のプラスとなった。また、衣料品が4か月連続、身のまわり品が11か月ぶり、家庭用品が3か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が11か月連続、子供服・洋品が8か月連続、菓子、その他食料品が6か月連続、家具、その他家庭用品が3か月連続、紳士服・洋品、生鮮食品が4か月ぶり、美術・宝飾・貴金属、その他衣料品、惣菜が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	2.7	—	11か月連続プラス
紳士服・洋品	0.3	0.0	4か月ぶりプラス
婦人服・洋品	-3.1	-0.6	4か月連続マイナス
子供服・洋品	5.2	0.1	8か月連続プラス
その他衣料品	0.8	0.0	2か月ぶりプラス
衣料品	-1.4	-0.4	4か月連続マイナス
身のまわり品	-0.2	0.0	11か月ぶりマイナス
化粧品	27.9	2.0	11か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	7.7	0.5	2か月ぶりプラス*
その他雑貨	-4.3	-0.2	7か月連続マイナス*
雑貨	12.2	2.2	11か月連続プラス
家具	12.9	0.2	3か月連続プラス
家電	-40.4	-0.4	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	1.8	0.1	3か月連続プラス
家庭用品	-2.8	-0.2	3か月ぶりマイナス
生鮮食品	0.8	0.0	4か月ぶりプラス*
菓子	6.5	0.6	6か月連続プラス*
惣菜	3.0	0.1	2か月ぶりプラス*
その他食料品	2.3	0.2	6か月連続プラス*
食料品	3.7	0.9	6か月連続プラス
食堂喫茶	-0.0	0.0	2か月連続マイナス
サービス	-8.4	-0.2	8か月連続マイナス
その他	11.3	0.3	7か月連続プラス
商品券	-0.9	0.0	12か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>